

鳥獣保護・獣害対策講習会を開催

[愛知所]6月13日に、愛知森林管理事務所会議室において、「鳥獣保護及び狩猟に関する講習会」を開催しました。

講習会は、職員とともに民国連携の観点から東三河地区の市町(新城市、設楽町)及び愛知県関係機関からの参加者を含めた32名が参加しました。

講習会は、まず愛知県環境部保護課職員を講師に招き「狩猟と許可捕獲について」と題して、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律の概要、愛知県が策定した鳥獣保護管理事業計画の概要、愛知県の鳥獣被害状況及び被害対策状況等の説明を受け、鳥獣保護や狩猟についての知識を習得しました。



「狩猟と許可捕獲について」
講習会の様子



「くくり罠」の実演紹介

その後、当所職員から「くくりわな」について実演による紹介を行いました。愛知県内でもニホンジカの個体数の増加や分布区域の拡大により被害が深刻化しつつあり、広域的な被害対策の推進が求められています。当所においても講習会等を通じた知識の向上に努めるとともに、引き続き防護柵等による被害防止対策、生息状況調査の実施、猟友会との連携による捕獲の検討を行うなど、効果的な被害対策の推進を図ることとしています。

湿原の荒廃を守れ イノシシ対策で官民連携

[富山署]6月13日、水無国有林でNPO法人利賀飛翔の会と富山森林管理署が合同でイノシシ対策用のワイヤーメッシュ柵の設置を行いました。

当該地は、ブナを主体の広葉樹林に囲まれた湿原が広がり、ミズバショウ、リュウキンカ等の湿性植物群落や希少種のヤシャビシャク、ヨウラクツツジが自生し、富山県白木水無県立自然公園第一種特別保護地域の指定を受けています。

かねてよりイノシシによる植物根の食害跡が確認され、くくり罠の設置など有害鳥獣捕獲に取り組んできていますが、被害状況の確認により湿原の荒廃が懸念されてきました。

そこで、昨年11月、富山大学、富山県、南砺市、NPO法人利賀飛翔の会と協議を重ねる中でワイヤーメッシュ柵を設置することを決め、雪解けを待って今回設置したものです。設置方法は、亜鉛メッキ鉄線(線径5^{ミリ}、横2^{メートル}×縦1^{メートル})の網をかぶせる「伏せ施工」と、網を立てて組む「立て施工」の二通りとし、11月上旬まで設置を続け、狩猟による捕獲と併せて設置効果の検証を行うこととしています。



伏せ施工



立て施工